

シリコン樹脂 SILIKOPHEN® AC 1000

用例

反応性メチルシリコーン樹脂

重要な利点

- 低粘性メキシ官能性シリコーン樹脂
- 常温にて、触媒と加水分解/縮合反応で取り込まれる湿気による硬化
- 温度を掛け完全な硬化塗膜を得る際、低い発煙および低い臭気の発生
- SILIKOPHEN® AC 1000 は、単一の疎水性成分としてかつ、木材の防火含浸材の配合に完全に適合します。

適性

水系 溶剤系

● ●

高固体物

●

● 不溶 ● 一部適する ● 適する

技術情報

有効成分量 100 %

外観 透明から濁った色の液体(製品性能は濁りに影響されない)

納入形態 液体

粘度 Approx. 15 mPas
(25°C)

溶解性

キシレン ダワノールMPA

● ●

酢酸ブチル シクロヘキサン

● ●

● 不溶 ● 一部溶解 ● 溶解

代表的な用途

- 工業設備向け熱安定性塗料
- 防食塗料
- オーブン、燃焼炉、工場配管、焼却炉

処方手順

- 最大650°Cの耐熱性を継続的に得るために、メタリック顔料および特殊製剤を使用してください。
- 表面処理:脱脂とショットブラストをお勧めします。
- アルコキシ官能性樹脂との併用では、溶剤にアルコールや水酸基を持つグリコールエステルを用いることはお勧めしません。
- 使用原料の水分率は、0.05%未満であるべき。

反応硬化条件

- このペインダーは、触媒の存在下で室温で硬化します。
- 推奨します触媒の添加率は、例えばテトラ-n-ブチルチタネートです、ペインダー固形分に対して1-5%です。触媒の添加は、(1液系の場合)製品詰めの直前あるいは、(2液系の場合)塗装の直前に行わなければならない。
- 常温で約12時間乾燥した後に強制乾燥が可能です。この架橋反応は、加水分解/縮合反応によって進行しますので、対流式オーブンなどの強制乾燥炉を使用する場合は、湿度がある空気中で行ってください。

取り扱いおよび貯蔵

- 未開封状態で保管されれば、製品の貯蔵期間は製造後36ヶ月です。
- (金属容器など)錫と接触すると安定性が短縮されます。また水分との接触はゲル化を起こします。

この文書に記した情報、技術等は、当社の現在における知識・経験に基づくものです。当社はこれらの情報、技術等による第三者の知的財産権、特に特許権の侵害問題などについて、いかなる賠償責任または法的責任も負いません。特に、当社が記載する情報には製品やサービスの構成・成分・仕組みは記載されず、また、記述内容は保証には該当しません。また、当社は技術の進歩または発展によりこれらの情報、技術等を変更する権利を有します。当社製品のユーティリティが確認された製品の検査・試験を入念に行う義務を負担します。この文書に記載される当社製品の機能について、適切な資格を持つエキスパートによる検査を行い確認してください。この文書内の他社名の引用は、同社を推薦するものでも、類似する製品の使用可能性を否定するものではありません

Evonik Operations GmbH | Goldschmidtstraße 100, 45127 Essen, Germany | Telefon +49 201 173-2222 Telefax +49 201 173-1939 | www.coating-additives.com

